

令和5年度（2023年度）第4回「いちふく」 打合せメモ

（一色小学校区福祉協議会）

2024年 1月29日（月）13:30～15:30

一色小地域こうりゅうルーム

参加者：8名、松本（高齢介護課）、石川、松永（社協） 欠席：8名

石黒（記）

1. 打合せ内容

1) 各地域の通い場他

- ・百合が丘1丁目 12～13人前後の参加者で順調に実施されている。1丁目の公会堂は、台所のある部屋に鍵が掛かっていてお湯も沸かせずに使い勝手が悪い。
- ・百合が丘2丁目は老人の憩いの家が完成し4月から使えるようになる。2階建てが1階になったが隣とつながったので行き来が便利になった。
- ・百合が丘3丁目は、出前講座がブッキングして、できなかったことがあった。
- ・新築された県営住宅のコミュニティルームのイスとテーブルは3月に入るが、使用できるまでには時間がかかる。まだ入居も出来ていないので皆さんが入居して落ち着かないと進まない。コミュニティルームは実際に使えるようになるまでは1、2年先になる。
- ・一色 クリスマス会、新年会を行い、通いの場で蕎麦の提供を考えたが高齢化が進んで作る準備が難しくなっていて中止を考えている。一色の役員は16人で各週4人ずつ担当を決めている、その他にサポーターが25人位いる。
- ・緑が丘の通いの場は、4月から「通いの場みどり」に名称が統一される。開催日は、第1、第3の水曜日と第2、第4の木曜日になる。内容について今後決められていく。
- ・通いの場にかけている費用は各地域によって違っている。
- ・マンネリ化が進んでいるが、一色の通いの場で大磯から見学者が来たらみんなピンとして引き締まった感があった。（他の人が来ると刺激があってよい）
- ・「いちふく」でもお互いにそれぞれの通いの場に見学に行くよう計画する。
- ・通いの場は、どこでも男性の参加が少ない。男性は、役員はやるが参加者としては参加しない。男性はどこでも2、3人の参加で女性の参加者が多い。
- ・カーリンコンはどこでもやっているのでも「いちふく」主催で、一色の防災コミセンで6月頃カーリンコンの3地区で対抗戦をやることにした。（3地区の交流を深めていく）
- ・百合が丘のコミュニティダイニングで毎月 月末の月曜日に行っている“いっぷく茶屋”活動を各地区に広げていく。来期は緑が丘で実施予定。

2) 他学校区の地域を考える会については時間の都合で省略

3) 令和5年度第3回お互い様推進協議会については、“生活支援体制整備事業について”の資料を一読するよう配布した。

- ・福祉有償運送運転者講習については一色地区から2名参加予定。

以上

次回開催： 4月22日（月）13:30～15:30

たんぽぽささえたい まとめ

令和5年12月14日(木) 18:30~20:00 社協会議室

テーマ「ごみ出し」

○地域での状況

- ・ごみ出し場の掃除は当番制でやっている地区とやっていない地区がある
- ・曜日を間違えた人のごみは誰が対応するのか?→当番?気づいた近所の方?
- ・吾妻山に来た人が通り道にあるごみ出し場にごみを捨てていくことがある
- ・ごみネットも劣化するため交換が必要!→対応は誰が?
- ・大型ごみを置いていく人がいる→町に伝え対応してもらった
- ・ごみ出し場に出されたごみを持っていく人がいる→まだ使えそうなもの、違法なのでは!
- ・カラス対策として、柵やブルーシート・重石・チャック式のごみネットなど工夫している
- ・車でごみ出ししている人がいる→歩くのは大変だが車でなら持っていける
- ・通勤途中などにあるごみ出し場に出す人もいる→他地域のごみ
- ・独居の人は周りの方が手伝っている
- ・自治会を抜ける人は多いが、ゴミ出しではつながっている
- ・ごみ出し場まで遠い
- ・コンビニに家庭ごみを出す人が多い→月に7万円以上かかる
- ・古紙は地域で業者に依頼し収集してもらっており月5千円の収入が自治会に入る
- ・ごみ出し場の間隔が短いところもあれば離れているところもある
- ・ごみ収集車が入れない場所の方がごみ出しに苦労している

○取り組みそうなことや希望

- ・ゴミ出し場の工夫や情報を他地域にも伝え活用していただく
- ・ごみ収集車の来る時間が知りたい(ある程度の時間帯めやすに、ごみの種類で時間が違う)
- ・ごみ収集車に位置がわかるよう GPS など位置情報がわかるシステム
- ・ごみ収集車が入れない立地の方への町としての支援を検討してもらいたい
- ・地域でやれること、組織としてやれること、行政としてやれることなどすみ分けが必要

クローバーの笑・和・輪 まとめ

令和5年12月21日(木) 18:30~20:00 役場第1会議室

テーマ「移動」

○地域での状況

- ・当事者になっていないので実際の困り感がない
- ・免許返納したら、電話でハイヤーを呼ぶつもりだが、つかまらないとも聞いている
- ・60代70代の元気な方をシルバー人材センターなどで活躍の場にする※移動部設立など
- ・歩くのがやっとの方に聞いた、タクシーがつかまらないと
- ・タクシーを呼ぼうとしても2~3時間後などと言われたケースもあった
- ・近所の頼める(車乗せてくれる)人をみつけ確保しておく必要があるのでは
- ・国が送迎サービスの許可基準を緩和してくれれば
- ・今ある公共交通機関を維持していく必要がある
- ・神奈中バスやコミュニティーバスが通っていない地区では移動は深刻な課題
- ・タクシー料金値上がりしている
- ・乗合タクシーやデマンドタクシーなど地域の状況を踏まえたものにすれば
- ・駅に近い方は町内ではなく、電車で移動し平塚や小田原で買い物している
- ・一人暮らしの高齢者で平塚のジムに通い体力つくりと買い物をしている
- ・近くに頼める方がいない
- ・自分の車に人を乗せたり、人の車に乗ったりした際にはお互いに事故等の心配がある
- ・短い距離の運転しかしないと車のバッテリーにはよくない、止まってしまったことも
- ・自転車を活用している
- ・困っている人が困っていると発信できるようにする
- ・買い物や受診で移動することが多いため、企業や病院が送迎バスなどを出してほしい
- ・頼れる人を探すには、今のうちから地域の方とつながっておく必要がある

○取り組みそうなこと・希望

- ・町で行っている福祉有償運送講習会受講者を地域で活躍できるようつなげる
- ・ほほえみの会では2名の運転ボランティアが活動中 実例をPRしては
- ・タクシーが値上がりしているのであれば、コミュニティーバスの料金を値上げし利用しやすいようにしては
下
- ・事故等の心配はあるが、始めないと何事もできない